

# 古代寺院史の研究

菱田哲郎・吉川真司 編

古代の寺院遺跡について、実地に検討をおこない、様々な分野を越えて議論できる場を設けようと、「古代寺院史研究会」は発足した。本書は、主にその参加者が執筆した、畿内・周辺地域の古代寺院に関する論考と最新の調査知見、さらに古代朝鮮・中国の寺院研究を収録し、分野横断的な視点で古代寺院史研究の新地平を拓く。

▶B5判上製・512頁／定価：本体13,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1968-1

【2019年8月刊行】

## 内容目次

序 論 (菱田哲郎・吉川真司)

### 寺院の変遷とその荘厳

- 堂内荘厳の考古学—緑釉波紋埴と埴仏から (大脇潔)
- 三彩・緑釉埴再論 (高橋照彦)
- 日本古代寺院における「幢」の考古学的研究 (高正龍)
- 古代寺院の数的変遷 (吉川真司)
- 常修多羅衆成立をめぐる基礎的考察 (堀裕)
- 大寺を支える僧侶組織

### 山城国

- 高麗寺からみた日本古代の仏教 (菱田哲郎)
- 古代・中世寺院史研究における東安寺の射程 (黒羽亮太)
- 京都市伏見区の小野廃寺について (古閑正浩)
- 平安京の周辺諸寺圏 (根立研介)
- 造仏の場としての法成寺の意義 (堀大輔)
- \* 檜原廃寺 (梅本康広)
- \* 宝菩提院廃寺 (大坪州一郎)
- \* 神雄寺跡

### 大和国

- 高市大寺の所在地をめぐる (小澤毅)
- 香山堂再考 (平松良順)
- 東大寺法華堂伝来の天平期諸像に関する一考察 (藤岡穰)
- \* 尼寺廃寺 (山下隆次)
- \* 安倍寺跡 (丹羽恵二)
- \* 奥山廃寺跡 (岩本正二)

### 河内国

- 古代寺院と寺辺の景観
- 河内九頭神廃寺周辺の調査成果から (西田敏秀)
- 交野ヶ原の歴史地理—北河内の寺院を結ぶ (上杉和央)
- 生駒西麓の古代寺院の研究 (網伸也)
- 河内寺廃寺跡と法通寺跡を中心に (安村俊史)
- 河内六寺と知識 (西田敏秀)
- \* 河内九頭神廃寺 (大竹弘之)
- \* 百済寺跡 (丸山香代)
- \* 高宮廃寺跡 (仲林篤史)
- \* 河内寺廃寺跡

### 行基寺院

- 行基建立の四十九院と開発 (近藤康司)
- 山背の行基寺院—紀伊郡域を中心に (吉野秋二)
- 撰津国西成郡津守村の行基寺院 (西本昌弘)
- \* おうせんどう廃寺・がんぜんどう廃寺 (堀大輔)
- \* 山崎廃寺〔山崎院〕 (古閑正浩)
- \* 大野寺跡〔土塔〕 (近藤康司)

### 地方寺院の諸相

- 地方寺院の法会—伽藍配置・仏像・經典 (三舟隆之)
- 飛騨における軒瓦の様相 (三好清超)
- 古代若狭における寺院造営の様相 (松葉竜司)
- 興道寺廃寺を中心に (中畔明日香)
- \* 伊丹廃寺跡 (近藤康司)
- \* 海会寺跡

### 中国と朝鮮

- 中国における双塔伽藍の成立と展開 (向井佑介)
- 百済寺院の立地—谷に造営された寺々 (清水昭博)
- 新羅王京寺院の伽藍配置について (田中俊明)
- 新羅下代景文王の宗廟祭祀と崇福寺 (井上直樹)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009  
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)		
冊数	冊	古代寺院史の研究	本体13,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1968-1		
お名前		tel		書店番線印		
		e-mail				
ご住所	〒		本書HPのQRコード			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)					

**平安期の願文と仏教的世界観**【オンデマンド版】

工藤美和子著

佛教学研究叢書

願文とは、法会の主催者である願主が、仏に願意を述べる文章である。本書では、願文自体が何を語ろうとしているのか分析することで、天皇から中下級貴族・女性・僧侶にいたる人々の仏教理解や具体的信仰のあり方、所属する社会集団内部でのそれぞれの構成員が果たした公共的な役割、寺院や僧侶と世俗社会との関わり方を明らかにする。

▶A5判・368頁／本体7,400円

ISBN978-4-7842-7014-9

**※仁明朝史の研究 承和転換期とその周辺**

角田文衛監修/古代学協会編

仁明朝史研究会の研究成果を元に、様々な分野・視点から仁明朝期の画期性を解き明かす論文集。

【内容】九世紀東部ユーラシア世界の変貌/九世紀の調庸制/九世紀の輸送体系/「化他」の時代/平安京野寺（常住寺）の諸問題/銭貨と土器からみた仁明朝/造瓦体制の変革期としての仁明朝 他

▶A5判・356頁／本体7,000円

ISBN978-4-7842-1547-8

**日本古代都市史研究 古代王権の展開と変容**

堀内明博著

永年、平安京などの都市遺跡発掘調査に携わった著者の研究成果。長岡京の東宮と左京東院、平安京の条坊と市・町の形態、宅地と建物配置などの王朝都市から、白河・鳥羽殿、源氏・平氏の館などの中世前期都市まで、都城の展開と変容過程を時系列的に分析し、古代王権のあり方を考古学の成果を踏まえて解明した一書。掲載図版多数。

▶B5判・514頁／本体15,000円

ISBN978-4-7842-1457-0

**日本的時空観の形成**

吉川真司・倉本一宏編

空間認識・時間認識を形作るさまざまな要素——日本の地理的・気候的環境、中国から伝来した暦法と時刻制、政治制度、さらには仏教の影響など——を、文献学、考古学、歴史地理学、国文学の研究者たちがそれぞれの視点から分析。古代から中世にかけての日本的時空観の形成・定着のプロセスを具体的に明らかにする。

▶A5判・608頁／本体12,500円

ISBN978-4-7842-1892-9

**神仏習合の歴史と儀礼空間**【オンデマンド版】

嵯峨井建著

日本宗教史の基本位置にある神道と仏教との関わりを、祭祀・法会の空間である神社・寺院の儀礼空間を視点に論じ、神仏習合の実態を明らかにする。神宮寺における神祇奉斎、寺院附属の鎮守社、仏教儀礼である神前読経、神職系図に基づいた神道周縁の仏法との関わりなど、豊富な事例とともに神仏習合の諸形態を丹念にまとめた実証研究。

▶A5判・430頁／本体8,600円

ISBN978-4-7842-7000-2

**日本中世の社会と寺社**

細川涼一著

律宗・律僧が中世社会で果たした役割を中心に、女性や被差別民など、歴史の主流からこぼれ落ちがちなものたちへまなごしを注ぎ、境界領域から歴史を問い続けてきた著者の主要な研究成果をまとめた一書。

【内容】Ⅰ中世律宗と公武政権／Ⅱ中世社会と律僧／Ⅲ中世の北野社と石清水八幡宮／Ⅳ源義経の妻と母

▶A5判・452頁／本体7,700円

ISBN978-4-7842-1670-3

**日本古代文書研究**

渡辺滋著

古代中国から文書主義を継受し日本的な新秩序として再編成するまでの諸過程を、日本古代社会で作成・利用されたおもな文書形式を対象として分析。古代社会における文書の機能に関する最新の研究成果を提示するとともに、機能論的な視点によって文書主義の運用を考察することで、古代から中世への移行にかかわる日本社会の特質に迫る。

▶A5判・480頁／本体9,200円

ISBN978-4-7842-1715-1

**平安時代陰陽道史研究**

山下克明著

平安時代を中心に、仏教・神祇信仰と並ぶ宗教としての陰陽道のあり方、陰陽師たちの天文観測技術や呪術・祭祀など活動の実態とその浸透、彼らの信仰などをさまざまな角度から明らかにする。また、中国から伝来し陰陽道の背景となった諸典籍、関連資料を幅広く紹介。陰陽師が残した日記である『承久三年具注曆』の翻刻を収める。

▶A5判・460頁／本体8,500円

ISBN978-4-7842-1780-9

**賢者の王国 愚者の浄土 日本中世誓願の系譜**

工藤美和子著

「賢者」として振舞い人々を悟りへと導こうとした文人貴族や撰閲家の有力者、天皇・上皇らと、人は仏の誓願の力によってしか救われぬ存在であると気づき、自らは「愚者」とであると自覚した法然とその周辺の人々。彼らがそれぞれに構想していった理想世界を、彼らの誓いの言葉を通して追うことで、日本浄土思想史に新たな知見を示す。

▶A5判・272頁／本体6,500円

ISBN978-4-7842-1958-2

**※太子信仰と天神信仰 信仰と表現の位相**

武田佐知子編

時代を超えて上下を通じた諸階層の篤い崇敬を得てきた、聖徳太子信仰・天神信仰の比較研究。各専門分野の研究者による、両信仰に関わる美術史、文学史、宗教史、芸能史的研究を集成し、時代のニーズとともに変化する信仰の形態や、それに付随するイメージの付与、そして宗派や地域を越えて多面的に利用される信仰の進化形を明かす。

▶A5判・354頁／本体6,500円

ISBN978-4-7842-1473-0

**※法隆寺史 上 古代・中世**

法隆寺編

法隆寺1400年におよぶ歴史を通観する、初の寺史全3巻のうちの上巻。法要、組織、美術、建築、経済などを総合することで、各時代の信仰の姿を浮き彫りにし、日本仏教の始源から現代までをたどる。所蔵の数万点におよぶ膨大な文書・記録を整理し、古代のみならず、中世から戦後にいたる法隆寺の姿をも新史実を盛り込んで明らかにする。

▶A5判・554頁／本体6,800円

ISBN978-4-7842-1924-7

**※権者の化現 天神・空也・法然**

今堀太逸著

佛教学大学鷹陵文化叢書⑫

日本国の災害と道真の霊・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土宗の布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。

【内容】Ⅰ「天神」日本国の災害と道真の霊／Ⅱ「空也」六波羅蜜寺の信仰と空也／Ⅲ「法然」浄土宗の布教と法然伝

▶四六判・312頁／本体2,300円

ISBN4-7842-1321-X

**変容する聖地 伊勢**

ジョン・ブリン編

伊勢神宮は古代から変わることなく受け継がれてきた聖地というイメージで語られるが、その神宮像はそれほど時代をさかのぼるものではなく、神宮が移りかわる時代のなかで大きく変貌を遂げてきたことはあまり語られていない。本書は国内外の一線の研究者による古代から近・現代にわたる論考16編を収め、伊勢神宮の変容の歴史をひもとく。

▶A5判・340頁／本体2,800円

ISBN978-4-7842-1836-3

**神話・伝承学への招待**

斎藤英喜編

桃太郎は、なぜ桃から生まれてくるのだろうか——その答えは『古事記』のなかにあった。これまで別々のジャンルで扱われてきた「神話」と「伝説」「昔話」について、総合的・学問的に研究する「神話・伝承学」。本書は11の章と7つのコラムにより、魅力ある「神話・伝承学」の世界へいざなう、格好の入門書。

▶A5判・266頁／本体2,300円

ISBN978-4-7842-1813-4

**医療の社会史 生・老・病・死**

京都橘大学女性歴史文化研究所編

京都橘大学女性歴史文化研究所の研究プロジェクトの成果のひとつで、医療の社会的展開が通史的にうかがえるようにすることを企図した論文9本・コラム4本を収録。京都橘大学スタッフによる最新の研究成果を盛りこむ。

【内容】Ⅰ中古・近世の医療と社会／Ⅱ近・現代の医療と社会

▶A5判・304頁／本体2,800円

ISBN978-4-7842-1677-2

**怨霊・怪異・伊勢神宮**

山田雄司著

古代・中世社会で大きな意味をもち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・菅原道真・崇徳院などの怨霊や、様々に記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡づける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。

▶A5判・448頁／本体7,000円

ISBN978-4-7842-1747-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。